

<p>H24 多目的スペースのあるコミュニティ施設 (鉄筋コンクリート造「ラーメン構造」2階建)</p> <p>(2)構造、階数及び建築物の高さ等 ア.鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)2階建とする。 イ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。 ウ.搭屋(ペントハウス)は設けないものとする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「260㎡以上、300㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、バルコニー、屋外階段、玄関ポーチ、屋外スロープ、屋外カフェテラス、駐車スペース、駐輪スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)人員構成 館長(1名)、職員(2名)、喫茶スペースの従業員(ボランティアスタッフとし、常時2名で交代制とする。)</p>	<p>H25 レストラン併用住宅 (木造2階建)</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ア.木造2階建とする。 イ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「170㎡以上、210㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外スロープ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)人員構成 夫婦(40歳代で、夫が調理、妻が接客を担当)、子ども2人(女子高校生、女子中学生)</p>	<p>H26 介護が必要な親(車椅子使用者)と同居する専用住宅 (木造2階建)</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ア.木造2階建とする。 イ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「140㎡以上、180㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、駐車スペース、駐輪スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)人員構成 祖母(70歳代)、夫婦(40歳代で、夫が調理、妻が接客を担当)、子ども2人(女子高校生、男子中学生)</p>	<p>H27 3階に住宅のある貸店舗(乳幼児用雑貨店) (鉄筋コンクリート造「ラーメン構造」3階建)</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ア.鉄筋コンクリート造(ラーメン構造)3階建とする。 イ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは9m以下とする。 ウ.建築物の外壁面及び柱面は隣地境界線から500mm以上離すものとする。 ウ.搭屋(ペントハウス)は設けないものとする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「230㎡以上、300㎡以下」とする。 (床面積については、ピロティ、バルコニー、屋外階段、屋外廊下、屋外通路、玄関ポーチ、屋外プレイスペース、駐輪スペース等は参入しないものとする。また、エレベーターシャフトについても、床面積に参入しないものとする。)</p> <p>(4)人員構成 ア.住宅部分は、夫婦(40歳代)の2人暮らしである。 イ.店舗部分では、店長1名及び従業員3名の計4名が就業する。</p>
<p>H28 景勝地に建つ土間スペースのある週末住宅 (木造2階建て)</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ア.建築物の耐震性に配慮する。 イ.木造2階建てとする。 ウ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「160㎡以上、190㎡以下」とする。 (床面積については、屋内自動車車庫の部分は参入し、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外駐車スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)家族構成 夫婦(40歳代)、子ども1人(小学生)</p>	<p>H29 家族のライフステージの変化に対応できる三世代住宅 (木造2階建て) 予測課題</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ア.建築物の耐震性に配慮する。 イ.木造2階建てとする。 ウ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。</p> <p>(3)延べ面積 必ず「180㎡以上、220㎡以下」とする。 (床面積については、屋内自動車車庫の部分は参入し、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外駐車スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)家族構成 親夫婦(60歳代)、子夫婦30歳代、子ども2人(小学生)</p>	<p>h29 研究会による予測課題の解説</p> <p>(2)構造、階数、建築物の高さ等 ・ここは、定型文である。下記、ア～ウは、H28の同じ内容であるが、過去もほぼ同じ内容である。 ア.建築物の耐震性に配慮する。 イ.木造2階建てとする。 ウ.建築物の最高の高さは10m以下、かつ、軒の高さは7m以下とする。</p> <p>(3)延べ面積 ・延べ面積は、木造2階建てから、過去問および妥当な面積を考慮すると、最低160㎡以上、最大230㎡以下程度となるが、ここでは、「180㎡以上、220㎡以下」とした。 ・その範囲面積は、過去等から考慮すると30～40㎡であり、ここでは、40㎡範囲を設定とした。 ・下記、カッコ書き文面は、定型文である。 (床面積については、屋内自動車車庫の部分は参入し、ピロティ、玄関ポーチ、屋外テラス、屋外駐車スペース等は参入しないものとする。)</p> <p>(4)家族構成 ・家族構成は、三世代住宅であることから、親夫婦と子夫婦と子どもは必須事項となる。 ・子どもは、1人または2人のどちらかとなると推定できるが、ライフスタイルを考慮して、現在、小学生低学年とし、一部屋であることから、将来間仕切りにより二部屋へできる計画を想定して、2人とした。 親夫婦(60歳代)、子夫婦30歳代、子ども2人(小学生)</p>	

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

「(2) 構造、階数、建築物の高さ等」は、共通事項として「構造と階数」、「建築物の高さ」が指定されている。

構造は、大きく鉄筋コンクリートと木造のどちらかが出題される。

過去に出題された**構造**と**階数**は、以下の通りである。

H24: 鉄筋コンクリート造、2階建

H25: 木造、2階建

H26: 木造、2階建

H27: 鉄筋コンクリート造、3階建

H28: 木造、2階建

過去に出題された**建築物の高さ**は、以下の通りである。

H24: 建築物の最高高さ10m以下、軒の高さ9m以下

H25: 建築物の最高高さ10m以下、軒の高さ7m以下

H26: 建築物の最高高さ10m以下、軒の高さ7m以下

H27: 建築物の最高高さ10m以下、軒の高さ9m以下

H28: 建築物の最高高さ10m以下、軒の高さ7m以下

上記以外の内容としては、以下の通りである。

H24: 搭屋(ペントハウス)は設けないものとする。

H27: 建築物の外壁面及び柱面は隣地境界線から500mm以上離すものとする。

搭屋(ペントハウス)は設けないものとする。

H28: 建築物の耐震性に配慮する。

(3) 延べ面積

「(3) 延べ面積」は、延べ面積の下限と上限が示される。この範囲外の設計をした場合は、失格となる。また、その後に、カッコ書きで、床面積に参入しないものが指定される。

延べ面積の指定は、以下の通りである。

H24: 260㎡以上、300㎡以下 ⇒ 範囲: 40㎡

H25: 170㎡以上、210㎡以下 ⇒ 範囲: 40㎡

H26: 140㎡以上、180㎡以下 ⇒ 範囲: 40㎡

H27: 230㎡以上、300㎡以下 ⇒ 範囲: 70㎡

H28: 160㎡以上、190㎡以下 ⇒ 範囲: 30㎡

概ね、延べ面積の範囲は、約40㎡であり、H27に70㎡と広がったが、H28には30㎡と狭い㎡数であった。この範囲は、狭い

ほうが、その範囲内に収めた設計となることから、範囲が狭いほうが難しい。

その後、カッコ書きで床面積の除外項目が列記される。毎年出題される同じ項目は、ピロティと玄関ポーチであるが、それ以外で、各年度の要求室等の条件により、除外項目が定められる。

特殊な指定として、H27に「エレベーターシャフト」が初めて除外項目として示された。余談であるが、H27の1級建築士の製図試験でも、この「エレベーターシャフト」の床面積から除外上限が、初めて出題され、1級建築士では、単純なエレベーターシャフトの他に「3～5階の共用廊下、エレベーターホール」も除外項目となり、指定されていない階との違いや、エレベーターホールにPSがあると、PSは面積に含めるなど複雑な面積計算となり、ほとんどの受験生が面積計算ミスをしたという、ちょっとした受験者間での事件となった。

同じ年度での初除外項目の出題だったので、1級建築士受験者が、試験日が先である2級建築士の製図課題を注意深く分析していたなら、このエレベーターシャフト等の面積除外も予測でき、ミスを回避できたかもしれない。

(4) 人員構成

「(4) 人員構成」は、家族構成や従業員構成が示される。

人員構成の指定は、以下の通りである。

H24: 館長1名、職員2名、喫茶2名交代制

H25: 夫婦、子ども2人

H26: 祖母、夫婦、子ども2人

H27: 夫婦、店舗1名(店長)3名(従業員)

H28: 夫婦、子ども1人